

チャレンジ農業！次のステージへ！

営農情報ならは⑤

榎葉町産業振興課（令和3年1月号）

- ・JA福島さくらふたば地区「榎葉町甘藷生産部会設立総会」開催！
- ・「榎葉町甘藷生産部会勉強会」
- ・榎葉町農業委員会からのお知らせ～現況確認証明～



JA福島さくらふたば地区「榎葉町甘藷生産部会」設立総会開催！

令和2年12月23日、榎葉町役場において「JA福島さくらふたば地区「榎葉町甘藷生産部会総会」が開催されました。来賓には、榎葉町長のほか県双葉農業普及所長や株式会社福島しろはとファーム等の皆様にご臨席を賜りました。榎葉町長からは

①企業と地元農業者が連携を図り29年から実証栽培を開始、年々栽培面積が拡大し令和2年に甘藷貯蔵施設が完成、令和3年には50ha超の見込みで新たな営農モデルの確立・産地づくりが進展。②地元農業者の皆様が甘藷栽培に取り組むことにより新しい特産品となる甘藷栽培に弾みをつけ、農業再生の実践を図る。③甘藷生産部会が榎葉町の甘藷一大産地を目指す組織として発展を祈念する旨の祝辞が述べられました。総会では、榎葉町甘藷生産部会の規約や事業計画等の各議案が満場一致で採決され、8名の方々役員に選任されました。



松本町長の祝辞に傾聴する甘藷栽培予定者

- ※部会役員が決定しました！
- | | |
|-------|----------|
| 甘藷部会長 | 猪狩 富夫さん |
| 副部会長 | 古市 寿正さん |
| 会計 | 新田 勇太さん |
| 委員 | 猪狩 義久さん |
| 委員 | 遠藤 庄一郎さん |
| 委員 | 坂本 洋さん |
| 監事 | 青木 基さん |
| 監事 | 遠藤 敏則さん |



新役員の皆様から決意と抱負の言葉をいただきました！

榎葉町農業委員会からのお知らせ～現況確認証明～

現況確認証明とは、現況が山林・原野などの非農地になってしまった土地について、「農地法の適用を受けない土地であること」を証明するものです。

この証明を受けることで、田や畑から山林・原野へ地目変更が可能になります。

（※地目変更は法務局での手続きとなります。）
榎葉町農業委員会では申請書の提出があった場合農地法に基づき、書類の審査、農業委員等の現地調査を行い、現況が農地であるか否かの可否を決定します。

このことに関して詳しく知りたい場合は、榎葉町農業委員会事務局にご相談願います。

【TEL:0240-23-6104】



町内の原野化した農地

山火事予防！！～1月から5月が要注意です！！～

山火事の発生には、季節的な特徴があります。山火事の約7割が冬から春にかけて集中して発生しています。冬は森林内に落ち葉が積り燃えやすい状態になっています。特に太平洋側は乾燥した状態になるという自然条件も重なります。ほとんどは、人間の不注意によって起きています。このことは、私たち一人ひとりが火の取扱いに注意することで山火事を未然に防止できるということでもあります。榎葉町のかげがえのない貴重な森林を守るため、皆様のご協力をお願いします。



発行日 令和3年1月
 発行 福島県榎葉町
 編集 榎葉町産業振興課
 〒979-0696
 福島県双葉郡榎葉町大字北田字鐘突堂5-6
 TEL:0240-23-6104 FAX:0240-25-1234

チャレンジ農業！次のステージへ！
～甘藷の一大産地化を目指して～

JA福島さくらふたば地区「榊葉町甘藷生産部会勉強会」開催！

令和2年12月23日、榊葉町役場大会議室において、①甘藷の補助事業、②甘藷の栽培方法、③株式会社福島しろはとファームの取組み等について勉強会を開催しました。



説明者の話を熱心に聴きメモを取る部会員

①甘藷栽培に係る補助事業 ～甘藷の一大産地化を目指して～

榊葉町は、甘藷の生産拡大と定着を図ることを目的に甘藷栽培を営む農業者に対し、予算の範囲内で補助金や奨励金を交付します。

- ①補助対象者は、榊葉町に住所を有し町内で甘藷栽培を営み出荷販売を前提とする農業者等でJA福島さくらふたば地区甘藷生産部会に加入していること。
- ②1補助対象者当たりの補助費は、甘藷栽培に係る農業用機械購入費及びパイプハウス設置購入費で総額100万円以内で、経費の4分の3以内で1回限り。
- ③甘藷作付奨励金として、苗代及び生産資材費の相当額を予算の範囲内で交付。

【甘藷の栽培計画】土づくりの勉強会や苗植え等、定期的に勉強会を開催予定です。

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
23日 ・部会設立総会 ・甘藷栽培全体勉強会	土づくりの勉強会	土づくり 育苗	育苗	苗植え勉強会	植付け	除草作業	除草作業	除草作業	収穫作業勉強会
町 甘藷栽培支援事業 農業用機械・パイプハウス 作付け奨励金	R2年度申請導入	R2年度申請導入	R3年度申請導入	R3年度申請導入	R3年度申請導入	交付申請書提出	交付申請書提出	交付申請書提出	交付申請書提出
県 原子力被災12市町村 農業者支援事業 作付 甘藷 1,000万円以内の3/4	仮 R3年度第1次申請	仮 R3年度第1次申請	交付決定	交付決定	仮 第2次申請	仮 第2次申請	仮 第2次申請	仮 第2次申請	仮 第3次申請

10月	11月	12月	1月	2月	3月
収穫作業	栽培に係る反省会	栽培に係る反省会	甘藷生産部会 実績検討会	甘藷生産部会 実績検討会	3月末までに全ての事業が完了
					3月末までに農業用機械購入や施設整備など全ての事業が完了
					3月末までに全ての事業が完了

【補助金の交付】
※令和2年度分の申請に限り、総額100万円の範囲内において、令和3年度に分けて申請可能です。



②甘藷アドバイザー小巻克巳先生のご紹介

榊葉町の甘藷アドバイザーである小巻克巳（こまきかつみ）先生は、農林水産省に入省後に甘藷の栽培や品種改良に携わり、農業研究センター甘藷育種研究室長や(独)農研機構東北農業研究センター所長、福島県農業総合センター所長を歴任し、甘藷に関する博士（農学）を取得されています。産業振興課は、JA福島さくらふたば地区本部と連携し、榊葉町甘藷生産部会の年間スケジュールに基づき、土づくりや苗植え等の勉強会を計画的に開催する予定です。甘藷部会の皆様は、甘藷アドバイザーの小巻先生から栽培等に関する技術を習得し、植え付け後の除草作業等の栽培管理を徹底し、特にイモが肥大する7月中旬から9月の時期に除草作業をしっかりと行うことで、目標数量（3トン以上/10アール）の達成に向けて取り組みましょう！



甘藷の権威！小巻先生

③株式会社「福島しろはとファーム」の取組み

株式会社福島しろはとファームは、サツマイモ菓子専門店「らぼっぽ」を展開する白ハト食品工業（大阪府）のグループ会社で榊葉町に従業員が移住し甘藷栽培に取り組んでいます。平成29年に1.5haの試験栽培からスタートした甘藷栽培は、段階的に面積を拡大し、今年は約50haを目指して取り組む方針です。永尾社長は甘藷栽培予定者に「さつまいもを使った菓子の提供を通して榊葉町に笑顔を届けたい！みんなで盛り上げましょう！」と熱い思いを伝えました。



熱い語りの永尾社長！



元気で陽気なスタッフ！

榊葉町産さつまいもPRフェア開催！

産業振興課は、令和2年12月18～25日、地元から消費拡大を図ることを目的に「榊葉町産さつまいもPRフェア」を開催し、榊葉町長が福島県知事や復興庁、町内再開飲食・宿泊業者等にトップセールスを行いました。



榊葉町産「紅はるか」